

消化系統內科

住院醫師手冊

■ 編著

東京大學消化器內科

■ 編譯

賴敏裕

日本岡山大學醫學博士

國立台灣大學醫學士



合記圖書出版社 發行

消化系統內科

住院醫師手冊

■ 編著

東京大學消化器內科

■ 編譯

賴敏裕

日本岡山大學醫學博士

國立台灣大學醫學士



合記圖書出版社 發行

國家圖書館出版品預行編目資料

消化系統內科住院醫師手冊 / 東京大學消化器

內科編著；賴敏裕編譯。一初版。一

台北市：合記，2005 [民 94]

面：公分

含索引

譯自：消化器內科レジデントマニュアル

ISBN 986-126-172-9 (平裝)

1. 消化系—疾病—診斷—手冊，便覽等

415.5026

93020907

書名 消化系統內科住院醫師手冊
編譯 賴敏裕
執行編輯 程穎千
發行人 吳富章
發行所 合記圖書出版社
登記證 局版臺業字第 0698 號
社址 台北市內湖區(114)安康路 322-2 號
電話 (02)27940168
傳真 (02)27924702
網址 <http://www.hochi.com.tw/>

總經銷 合記書局
北醫店 臺北市信義區(110)吳興街 249 號
電話 (02)27239404
臺大店 臺北市中正區(100)羅斯福路四段 12 巷 7 號
電話 (02)23651544 (02)23671444
榮總店 臺北市北投區(112)石牌路二段 120 號
電話 (02)28265375
臺中店 臺中市北區(404)育德路 24 號
電話 (04)22030795 (04)22032317
高雄店 高雄市三民區(807)北平一街 1 號
電話 (07)3226177
花蓮店 花蓮市(970)中山路 632 號
電話 (03)8463459

郵政劃撥 帳號 19197512 戶名 合記書局有限公司

西元 2005 年 1 月 10 日 初版一刷

消化器内科レジデントマニュアル

東京大學消化器内科 編
賴敏裕 譯

ISBN 4-260-10276-1

Copyright ©2003 by Igaku-Shoin Ltd., Tokyo

All rights reserved. No part of this book may be reproduced by any mechanical, photographic, or electronic process, or in the form of a phonographic recording, nor may it be stored in a retrieval system, transmitted, or otherwise copied for public or private use, without written permission from the publisher.

Copyright © 2005 by Ho-Chi Book Publishing Co.

All rights reserved. Published by arrangement with Igaku-Shoin Ltd., Tokyo

Ho-Chi Book Publishing Co.

Head Office	322-2, Ankang Road, NeiHu Dist., Taipei 114, Taiwan, R.O.C. TEL: (02)2794-0168 FAX: (02)2792-4702
1st Branch	249, Wu-Shing Street, Taipei 110, Taiwan, R.O.C. TEL: (02)2723-9404 FAX: (02)2723-0997
2nd Branch	7, Lane 12, Roosevelt Road, Sec. 4, Taipei 100, Taiwan, R.O.C. TEL: (02)2365-1544 FAX: (02)2367-1266
3rd Branch	120, Shih-Pai Road, Sec. 2, Taipei 112, Taiwan, R.O.C. TEL: (02)2826-5375 FAX: (02)2823-9604
4th Branch	24, Yu-Der Road, Taichung 404, Taiwan, R.O.C. TEL: (04)2203-0795 FAX: (04)2202-5093
5th Branch	1, Pei-Peng 1st Street, Kaoshiung 800, Taiwan, R.O.C. TEL: (07)322-6177 FAX: (07)323-5118
6th Branch	632, ChungShan Road, Hualien 970, Taiwan, R.O.C. TEL: (03)846-3459

本書經原出版者授權翻譯、出版、發行；版權所有。
非經本公司書面同意，請勿以任何形式作翻印、攝影、
拷錄或轉載。

執筆者一覽 (敬稱略)

(東京大學消化器內科)

消化管

赤沼 眞夫
岡 政志
岡本 眞
加藤 順
加藤 眞子
佐渡 敬
建石 綾子

戸田 洋子
平田 喜裕
福島 康之
藤城 光宏
前田 慎
松橋 信行
松原 康朗

光野 雄三
安田 宏
矢作 直久
山地 裕
柳内 綾子
吉田 晴彦
渡邊 清高

肝臟

新井 雅裕
池田 均
今井 康雄
今村 雅俊
小尾俊太郎
加藤 直也
金森 博
菅田 美保
小池 幸宏

五藤 忠
椎名秀一朗
白鳥 康史*
菅原 寧彦**
建石 良介
手島 一陽
寺谷 卓馬
富谷 智明
濱村 啓介

藤江 肇
藤島 知則
前川 久登
光井 洋
三好 秀征
森屋 恭爾
山形 道子
渡部 宏嗣

膽道・胰臟

伊佐山浩通
大橋 誠
川邊 隆夫

小松 裕
笹平 直樹
多田 稔

田中 康雄
戸田 信夫
平野 賢二

教授 小俣 政男

* 岡山大學教授・消化器・肝臟・感染症內科學

** 東京大學肝膽胰外科學

譯者簡介

賴 敏 裕

台灣彰化人

國立台灣大學醫學院醫科畢業

日本國立岡山大學醫學博士

專攻

內科學、血液學、消化器病學

著作

內科臨床紀要

臨床血液學

抗生素治療手冊

翻譯

心電圖再入門

消化管內視鏡I－食道・胃・十二指腸

消化管內視鏡II－小腸・大腸

新超音波醫學2 消化系統

新超音波醫學3 循環系統

現職

真備中央病院內科部長

序

消化器疾病的病棟極為忙碌，並且因畢業後研修課程變更，許多實習醫師不得不在短期間內接受訓練。本書的重點在於把各種疾病做一番整理，以便於在繁忙的消化系疾病病棟治療、照顧病人，而由此提高研修的成果。但其基本則在於傳達實際上施行於東京大學消化器內科的知識與技術。

本書雖然只是一本手冊，但索引充實，尤其是英文索引併記縮寫與全文，多少兼具縮寫辭典的功用。

希望本書能成為剛畢業的實習醫師或指導醫師的座右書，而被放在衣袋裡，隨時做參考。

醫學書院林裕先生與栩兼拓磨先生盡力於本書的出版，在此致以深深的謝意。

2003年1月 小俣政男

前言

於2001年（平成13年）11月東京大學醫學部附屬病院的新入院病棟建築完成，受診病人也隨之大增，這是因為對新病院有很大的期待之故。消化器內科的工作人員為了響應病人的期望，而更盡全力於診療。不但尊重病人的意見，並且還提供最適當與安全的治療，而不是只單純地施以高水準的醫療方式。因此，我們才能自傲於全球的醫界。

此種醫療是由包括實習醫師的年輕醫師之熱忱所維護。消化器內科病棟非常忙碌，常為了重症病人而連日留宿，也常為了急症病人而取消假日，可說是過於苛酷的工作環境。任何一種醫療行為若未對病人做以證據為基礎的說明則無法實施。醫療是不准有知識不足的職業。在此種狀態下，年輕醫師受到“治癒病人”的信念所驅使，而不斷地努力進修。通常，在忙碌的情況下，一不小心，就很容易只憑經驗或教科書而決定治療方針。幸好年輕醫師們能隨時警惕，研讀最新的海內外文獻，並解析東大消化器內科所積蓄的臨床資料，而以此為基準實施有證據性的醫療。能治療病人，或能對病人提供有用的診療情報，是一件愉快的事，也是促進醫療人員努力不懈的原動力。

於東大消化器內科實施的診療，以及年輕醫師的熱忱，為了讓世人尤其是立志鑽研消化器內科的醫師能夠知曉，而企畫出版此書。

2003年1月 執筆者代表

川邊隆夫

譯者序

本書是依據消化器內科 Resident Manual（東京大學消化器內科編）翻譯而成。其內容包括：①各種檢查與實際治療手法，②消化系疾病的症候與診察，③消化管疾病，④肝疾病，⑤膽道、胰疾病。

消化系統的範圍極廣，不但需要有豐富的知識而且需要有熟練的技術。除非對消化系統疾病的診斷與治療有興趣與熱忱而日夜鑽研，否則很難在此領域佔上一席之地，也許本書對您是最佳的嚮導。

本書提綱挈領，去蕪存菁，是一本不可多得的座右書，希望您能隨身攜帶以供參考。尤其可貴的是記載了許多東大消化器內科的統計資料，讓您能與自己的消化系內科互相比較，以期百尺竿頭，更進一步。

本書之出版承蒙合記圖書出版社吳貴宗先生與各位同仁諸多幫忙，十分感謝！內子陳瑞珠女士不辭辛勞替譯者清寫稿件，記之於此聊表謝忱。譯者才疏學淺，若有謬誤之處尚請諸位賢達不吝指正。

2004年10月 賴敏裕

於日本國倉敷市

目錄

I 檢查・治療的實際手法 1

A ■ 消化管 2

- 1 上部消化管内視鏡檢查(藤城光弘).....2
- 2 上部消化管的內視鏡粘膜切除術.....(矢作直久).....7
- 3 內視鏡止血術(藤城光弘).....13
- 4 食道靜脈瘤的內視鏡治療(赤沼真夫).....19
- 5 內視鏡的胃瘻造設術(山地 裕・岡本 眞).....22
- 6 大腸內視鏡檢查.....(加藤 順).....25
- 7 大腸息肉切除術・內視鏡粘膜切除術.....(山地 裕).....29
- 8 超音波內視鏡(平田喜裕).....35
- 9 消化管 X 線檢查(戶田洋子).....39
 - a.單純 X 線檢查 (腹部).....39
 - b.消化管造影檢查.....40

B ■ 肝臟 43

- 1 肝的檢查・局部療法.....43
 - a. 肝活體組織切片檢查・腫瘍活體組織切片檢查
.....(藤島知則).....43
 - b.經皮乙醇注入療法 (PEIT).....(今村雅俊).....46
 - c.經皮放射波燒灼療法 (RFA).....(椎名秀一郎).....52
 - d.經皮微波凝固療法 (PMCT)(椎名秀一郎).....56
- 2 肝膿瘍引流術(伊佐山浩通).....61



C ■ 膽道・胰臟 65

- 1 經乳頭處置 (笹平直樹, 川邊隆夫) 65
 - a. 內視鏡逆行性胰膽管造影 (ERCP) 65
 - b. 內視鏡乳頭括約肌切開術 (EST) 67
 - c. 內視鏡乳頭氣球擴張術 (EPBD) 69
 - d. 內視鏡引流術 70
- 2 經皮處置 (戶田信夫) 73
 - a. PTCO 73
 - b. PTCS 76
 - c. 經皮內瘻化術 78

II 消化器疾病的症候與診察的要點 83

- 1 問診・現症的聽取要點 (手島一陽) 84
- 2 體重減少 (三好秀征) 89
- 3 吞嚥困難 (柳內綾子) 91
- 4 腹痛 (田中康雄) 94
- 5 噁心・嘔吐 (菅田美保) 98
- 6 吐血・便血 (佐渡 敬) 101
- 7 貧血 (佐渡 敬) 106
- 8 腹瀉・便秘 (柳內綾子) 111
 - a. 腹瀉 111
 - b. 便秘 113
- 9 黃疸 (光野雄三) 115
- 10 腹水 (山形道子) 119

III 消化器疾病的診斷與治療的要點 123

A ■ 消化管疾病 124

I. 食道疾病

- 1 逆流性食道炎 (山地 裕) 124



2	Mallory-Weiss 症候群	(建石綾子)...	129
3	食道弛緩不能症	(渡邊清高)...	131
4	食道靜脈瘤	(藤城光弘)...	134
5	食道癌	(藤城光弘)...	137

II. 胃・十二指腸疾病

1	慢性胃炎	(松原康朗)...	142
2	胃・十二指腸潰瘍	(前田 慎)...	147
3	胃息肉	(福島康之)...	150
4	胃腺瘤	(矢作直久)...	154
5	胃癌	(岡 政志)...	159
6	胃粘膜下腫瘤	(松原康朗)...	165
7	惡性淋巴瘤	(加藤真子)...	170

III. 小腸・大腸・肛門疾病

1	大腸息肉	(山地 裕)...	177
2	大腸癌	(岡本 眞)...	182
3	潰瘍性大腸炎	(加藤 順)...	187
4	克隆氏病	(松橋信行)...	195
5	腸結核	(安田 宏)...	202
6	缺血性腸炎	(建石綾子)...	207
7	藥劑起因性腸炎	(建石綾子)...	209
8	腸閉塞	(松橋信行)...	211

B ■ 肝疾病

215

1	見到肝機能異常的時候	(前川久登)...	215
2	病毒性肝炎		222
	a. A 型肝炎	(森屋恭爾)...	222
	b. B 型肝炎	(五藤 忠)...	223
	c. C 型肝炎	(加藤直也)...	231
3	肝硬變	(池田 均)...	240
4	猛爆性肝炎	(富谷智明)...	245

5	自體免疫性肝炎.....	(光井 洋).....	250
6	原發性膽汁性肝硬變.....	(藤江 肇).....	254
7	肝細胞癌.....		259
	a. 早期診斷的留意點.....	(渡部宏嗣, 白鳥康史).....	259
	b. 診斷法.....	(濱村啓介, 寺谷卓馬, 建石良介).....	262
	c. 治療法及其成績.....		
	(椎名秀一郎, 菅原寧彥, 金森 博, 小尾俊太郎)	290
	d. 治療後病例的診療留意點.....	(小池幸宏).....	309
8	肝血管瘤.....	(山形道子).....	316
9	轉移性肝癌.....	(寺谷卓馬).....	319
10	肝膿瘍.....	(藤島知則).....	324
11	其他的肝疾病.....		327
	a. 脂肪肝.....	(菅田美保).....	327
	b. 藥劑性肝病變.....	(三好秀征).....	329
12	肝疾病診療的話題.....		332
	a. small high SOL.....	(山形道子).....	332
	b. 肝移植.....	(新井雅裕).....	333
C	膽道・胰臟疾病		337
1	膽囊膽石.....	(川邊隆夫).....	337
2	急性膽囊炎.....	(大橋 誠).....	339
3	總膽管結石.....	(小松 裕).....	341
4	膽囊癌.....	(伊佐山浩通).....	347
5	膽管癌.....	(伊佐山浩通).....	352
6	膽道出血.....	(大橋 誠).....	358
7	急性胰炎.....	(平野賢二).....	360
8	ERCP術後胰炎.....	(平野賢二).....	366
9	慢性胰炎.....	(笹平直樹, 川邊隆夫).....	368
	膽石症的ESWL與stent療法.....	(笹平直樹, 小松裕).....	371
10	胰假性囊胞.....	(田中康雄, 多田 稔).....	376



11 胰癌.....	(多田 稔)...	379
12 粘液產生胰腫瘤.....	(多田 稔)...	382
索引		385

side memo

GERD.....	(山地 裕)...	124
逆流性食道炎與 <i>H. pylori</i>	(山地 裕)...	125
<i>H. pylori</i> 除菌療法	(吉田晴彦)...	149
大腸腺瘤的流行病學.....	(山地 裕)...	177
大腸息肉做治療或觀察經過的理論根據	(山地 裕)...	179
便潛血反應試驗可以發現所有的大腸癌嗎？	(岡本 真)...	183
年齡的增長與大腸癌的存在部位.....	(岡本 真)...	184
大腸腺瘤是前癌病變嗎？	(岡本 真)...	185
胰膽管合流異常症與膽道癌	(伊佐山浩通)...	350

第 一 篇

檢查・治療的實際手法

▶ 檢查前日

・ 晚餐後服用通便劑，以稀便為佳。也可攝取水分
及蔬菜。

▶ 檢查當日

・ 起床前，胃手術後、消化不良或學時而開胃的腸動心、此種腸
胃可能好壞的情況，即晚餐宜是易消化食品。
・ 想立刻變軟骨化而脂肪上相合甚容易以、而貧、非宜宜器出動。

▶ 檢查前10 ~ 20分

・ 口服 Buscopan® drop 2 ml、開始腸內
水 / da qon 1 vial (除了腸胃的粘附
劑 1000 mg 於 50 ~ 100 ml 水中)

A. 消化管

1 上部消化管内視鏡檢查

- 西元 1853 年，德國佛萊布魯格的醫師 Kussmaul，把由尿道鏡改良的胃鏡插入“吞劍師”的胃內做觀察，是上部消化管内視鏡歷史的開端。以後經過胃鏡、胃照相機、纖維內視鏡的時代，而衍變為電子內視鏡。現在的內視鏡已經是更安全、更簡便，且具有高精度的診斷與治療功能。
- 與 X 光檢查比較，其最大的利點在於可直接觀察病變，做實際時間性 (real time) 的組織採取或治療行為。
- 重要的是儘量減少病人的痛苦，安全而不發生事故，不看漏病變，於短時間內拍攝出鮮麗正確的照片，完成檢查。

前處置

▶ 到檢查前日為止的處置

■ 確認檢查的必要性

- 消化器官症狀、貧血、以及容易合併上部消化管病變的疾患（血液疾患、肝硬變等）之是否存在。
- 確認於檢查前是否投與了可能引起出血傾向的藥劑或可能導致胃、十二指腸潰瘍的藥劑。

■ 內視鏡檢查是否可能

- 檢查病人的身體狀況
- 有無嚴重的合併症

- 有無開口障礙或頭頸部、食道、胃的手術病歷

■ 前投藥 (premedication) 禁忌的有無

- Xylocaine[®] (鹽酸 lidocaine)
- 消毒用酒精的禁忌 (過敏症的存在)
- Buscopan[®] (butylscopolamine bromide) 的禁忌 (青光眼、攝護腺肥大、危篤的心臟疾患等)
- Glucagon 的禁忌 [糖尿病、親鉻細胞瘤 (pheochromocytoma) 等]

■ 投藥內容的確認

對使用會引起出血傾向的藥劑之病例不做活體組織切片檢查 (biopsy): Warfarin[®]、Heparin、Bufferin[®] 81 mg 錠 (含 aspirin 藥劑)、Panaldine[®] (ticlopidine hydrochloride)、Pletaal[®] (cilostazol) 等。

■ 各種感染症的檢查

爲了預防經由內視鏡的感染，做梅毒、HBV、HCV、(HIV) 的檢查 (對於1年以前做過檢查的病例，必須再度檢查)。

▶ 檢查前日

- 晚餐與常用藥於午後9時前服用，以後則禁食。但可攝取水分或喝茶。
- 糖尿病、胃手術後、消化管狹窄時而腸管的蠕動低下，食物殘渣可能貯留的病例，則晚餐宜攝取流動食品。

▶ 檢查當日

- 爲了洗淨胃粘膜面與預防脫水，於起床時 (到檢查前2小時爲止的時間內) 攝取200 ml 清水或茶水。心臟、血壓、氣喘病等無法停用的藥劑則在此時一齊內服 (附著於胃粘膜的胃粘膜保護劑爲內服禁忌)。

▶ 檢查前10~20分

- 先喝下 Buscopan[®] drop 2 ml，再於肌肉內注射 Buscopan 1 Amp 或 Glucagon 1 vial [爲了除去胃內粘液，把 pronase 20,000 單位與 NaHCO₃ 1 g 溶於 50~80 ml 水中後內服 (做色素撒布時適用於保險診療)。